

同和問題啓発映画

企画／岐阜県・岐阜県教育委員会

キャスト

伊藤留奈  
岡野進一郎  
大島花子  
山本圭  
高田美和  
前田吟

# あしたの足音



16ミリ版 250,000円

ビデオ版 90,000円

価格は税別 (C#6037)

1997年作品

46分作品



東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-4-12 ☎03-3272-5191 FAX.03-3273-7949

## この映画の鑑賞にあたって

差別する心は人間の心の弱点だと私は思っています。差別される側は差別によって強い痛みを味わいますが、差別する側はたいいてその痛みに気づこうとしません。

国籍による差別、性別による差別、学歴などによる差別、そしてこの映画が提起する部落差別、またこども社会の中のいじめも全て人の心の弱さの産物ではないかと思っています。つまり、自分の弱さを守ろうとする心の表れが他者への差別なのです。

この作品の主人公・松子の父・庄一郎も、家柄という価値観にこだわって、愛する娘の幸福の前に立ちまだけります。

差別のない明るい社会を築くために、試されるのは私たち一人一人の心ではないでしょうか。

監督：神山 征二郎

## あらすじ

野村松子(25)は岐阜市内の旅行会社に勤めるごく普通のOL。天然鮎が名物の料理屋を営む父・庄一郎(50)と母・貞子(53)の一人娘で、頑固な庄一郎から婿養子を迎えて家を継ぐよう言われている。野村家は古い家柄で、古田織部の一門から養子にきた祖先が持参したという織部焼きの茶碗が家宝である。

松子の恋人・原田昌平(30)は新進の陶芸家で、土岐市に工房を持っている。ある時、工房を訪れた松子に昌平がプロポーズした。喜ぶ松子。しかも、野村家に籍を入れてもいいと言う。「僕の家のことをご両親に話しておいてほしい。後で、だまされたとかいって、もめたくないんだ」昌平が慎重になるのは、昌平の父が同和地区から東京へ出た人であるということだった。

婿に来てくれると聞いて、庄一郎は大喜び。さっそく昌平を野村家に招いた。庄一郎は、昌平が陶芸家と聞いて、他人に見せてはいけないという言い伝えを破り、由来を述べて家宝の茶碗を得意げに見せた。昌平は茶碗の素晴らしいさをたたえた。そして自分の先祖が被差別部落出身であることを打ち明け、説明を始めた。たんと、庄一郎は突然、腹痛を訴え、昌平を追い返してしまう。松子はそこまで両親に話していなかったのだ。

この縁談は絶対に許さんと言う庄一郎と言いつ争った松子は、昌平のもとへ向かう。だが、昌平は松子の家出に反対した。出身を隠したりすることは自分で差別を認めたことになるのだから、本当のことを伝えた上で分かってもらえるまでがんばろう、と。そして、家宝の茶碗は

桃山時代のものではないことを松子に告げた。

貞子は、自分たちも周囲の反対を押し切って結婚したことを松子に話し、骨のあるしっかりした人だと昌平の印象を伝えた。しかし、貞子がとりなしても、庄一郎は二人の結婚を絶対に認めようとはしない。

進展のないまま時間ばかりが過ぎ、焦燥した松子は親友の安藤さゆり(25)の家を訪ねた。さゆりは親に反対され、駆け落ち同然に結婚してすでにこどももいる。さゆりの場合は夫の学歴で反対されたという。松子は、さゆり一家の幸せな光景がうらやましかった。

松子はしびれを切らして、もう家を出てしまいたいと昌平に訴える。しかし昌平は、大事な展覧会に出品する作品にかかるから、しばらく松子とは会わないと言う。すっかり落ち込んで、松子は食事も喉を通らない。

昌平は庄一郎に認められるためにも展覧会で入選してみせると決心し、作品に取り組む。が、願いを込めて焼き上げた壺を窯から取り出してみると、その胴は裂けてしまっていた。師匠に心が乱れていると指摘され、打ちめされる昌平。その夜、酒場で泥酔した昌平が工房に帰ると、窯出しのお祝いをしようと松子が待っていた。「もう、だめだ。だめなんだよ」と悔し涙にくれる昌平。その苦しみが、今の松子には痛いほど分かる。

翌朝、二人は野村家に向かった。話を聞いてほしいという松子に庄一郎は取り合おうとせず、おまえは昌平にだまされていると言う。松子はたまたま「家宝の茶碗は新しいもので、由来は嘘なの。だまされているのはお父さんよ」と叫んだ。

骨董屋の山田が鑑定し、茶碗は桃山時代の物ではないと判明した。愕然とする庄一郎に、昌平が言った。「由来はどうであれ、素晴らしい茶碗です。大事にしてやってください」

昌平が帰り、しみじみと茶碗を見つめていた庄一郎は、昌平の思いやりが胸に伝え、やがて穏やかに言った。「由来より、この茶碗自体に価値があったんやな。今度原田さんが来たら、うまい天然鮎を食わせてやるで」松子の頬に涙が流れた。

つらい一年を二人で乗り越えた松子と昌平の清々しい笑顔に、新しい時代の足音が聞こえてくるようだ。

製作……東映株式会社

プロデューサー：河田富三郎 照明：岡本秋夫  
脚本：加藤伸代 録音：米山靖  
監督：神山征二郎 音楽：和田薫  
撮影：伊藤嘉宏

製作協力……神山プロダクション

監修：岐阜県同和問題啓発映画制作検討委員会

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎03-3272-5191  
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎025-222-3091  
関西営業所 大阪市北区曽根崎新地1-13-22 〒530 ☎06-345-9026  
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730 ☎082-249-3930  
高松出張所 高松市本町11-7 〒760 ☎0878-51-3766  
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎052-971-0923  
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街5-12 〒812 ☎092-473-8541  
東北営業所 仙台市青葉区二日町13-26-305 〒980 ☎022-222-7613  
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060 ☎011-231-1439

●お買い上げは……